

## 第2学年 生活単元学習指導案

2年1組 計6人（男子4人 女子2人）

指導者 CT 小山 拓

ST 小田 彩子

### 1 単元名 進級に向けて

### 2 単元目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	主体的に学習に取り組む態度
漢字の成り立ちや地図記号, アルファベットなどについて正しく理解することができる。	自分のことについて正しく理解したり, これまでを振り返ったりして, 自分の目標等を考えることができる。	自分の苦手なことや悩んでいることを認識し, 克服しようという意欲をもつとともに教師や周囲の人の助言を聞くことができる。

### 3 単元について

#### (1) 単元の位置付けとねらい

本学級の生徒は, 積極的にコミュニケーションを取り, お互いの意見や考えを尊重しながら合意形成を図ることができる。これまでも, 生徒が中心となって主体的に学級内の組織をつくり, 協力して学級生活の充実や向上を図ってきた。しかしながら, 自己理解が十分ではない生徒や自己の課題に解決方法が見出せず, 自己肯定感が低い生徒も多い。また, 肯定的な感情をもてないことから活動が消極的になったり, 逃避してしまったりする生徒も少なくない。

そこで, 本単元では, 自分ができること(得意なことや自信がもてること等)やできないこと(苦手なことや悩んでいること等)について考え, 自己の課題と向き合い, 目標を立て, シンボルマークを作成するという学習を行う。シンボルマークを作成する際には, 漢字の成り立ちや地図記号の学習など他教科との関連も図りたい。また, 自分と対話したり, 他者の助言を聞いたりして, 自己の課題への解決方法が見つけれられるようにしたい。

このような学習を通して, 正しい自己理解に努めるとともに, 一人で解決できないときには, 周囲の大人や友達に助言や協力を求めることの大切さを学ぶことができると考える。また, お互いの個性を尊重したり, 価値観を認め合ったりするなど協力し合って生活することで, 他者から認められる体験を重ねることができ, 自己肯定感を高める基盤をつくることができると考える。

#### (2) 単元における学びの視点

主体的な学び	漢字の成り立ちや地図記号, アルファベットについて主体的に学ぶとともに, 自分の個性や目標について考えられるようにする。
対話的な学び	自分や他者との対話を通して, 自分ができることやできないこと, 課題や目標について考えられるようにする。
深い学び	正しい自己理解をするとともに, 自分のこれまでの言動や考えを振り返ることを通して, 自己肯定感を高めたり, 次学年への意欲を高めたりする。

### 4 指導計画

※ 別紙の「単元の指導計画」を参照してください。

5 本時 ( 8 / 8 )

単元・題材		進級に向けて		時数	8 / 8	チーフ	小山	期日	令和2年2月14日(金)2校時	場所	2年1組教室
目 標	本時の重点目標										
	<input type="checkbox"/> 知識及び技能 <input checked="" type="checkbox"/> 思考力, 判断力, 表現力等 <input checked="" type="checkbox"/> 主体的に学習に取り組む態度 <input type="checkbox"/> 行動の目標を考えたり, 目標達成のための具体的な方法について考えたりすることができる。 <input type="checkbox"/> 教師や周囲の人の助言を聞き入れたり, 言われたことを真摯に受け止めたりすることができる。										
学 習 の 流 れ	主な学習内容			本時における学びの視点				指導上の留意点			
	1 始めの挨拶をする。							○ 2学期終業式での校長講話を思い出させ, いつもとは違う挨拶を心掛けるようにする。(声の大きさやお辞儀の角度, 声色等を自分で考える)			
	2 作成したシンボルマークを振り返る。							○ シンボルマークが自分の目標を表していることを確認する。			
	3 学習目標を確認する。							○ 本時の学習について確認し, 見通しがもてるようにする。			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           もっともっともっと目標を考えよう。         </div>										
	4 自分の目標について振り返り, 「結果の目標」から具体的に何をどのくらい頑張るかという「行動の目標」を考える。			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【対】</b> 教師や周囲の人の助言を聞いて, 自分の考えとの共通点や相違点に気づき, 目標を再考したり, 一助にしたりする。         </div>				○ 前時までに学習した自分のできること等(得意なことや自信がもてること等), できないこと(苦手なことや悩んでいること等)も参考にする。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【深】</b> 行動の目標を考えることで, 自分の目標を達成するための具体的な方法について考えたり, 意欲を高めたりする。         </div>				○ 自分で考える際には, 周囲の人に対して助言を求められるようにするなど, 人に援助を求めることの大切さに気付けるようにする。				
5 本時の振り返りをする。							○ 以前学習した目標から反省までの流れを確認し, 自分が続けられそうな行動を考えるようにする。				
6 終わりの挨拶をする。							○ 考えがまとまらなかった生徒が多い場合は, 次時行うようにする。				
							○ 声の大きさ, お辞儀の角度, 声色等を自分で考えて挨拶する。				
場 の 設 定	黒板	教卓	T.K	S.H	K.I	※ 生徒名は, 椅子の背部分に記載。 ※ 参観される方は, 教室後方で自由に参観されてください。					
			Y.R	A.M	M.K						

